膣内
ちつない
監禁
かんきん
2
R18
for abult only
爆乳爆尻ストーカーに嫉妬されて犯される

ここまでのあらすじ

会社でイジメに近いパワハラを受け
辛い思いをしていた主人公。
ある日酔いつぶされて駅で座り込んだところ
1人の女性に介抱される

朦朧とした意識の中、気がつくとその女性に
犯されていた
彼女はずっと主人公の事をストーカーしていて
個人情報も会社での状態も何もかもを把握していた。

その後、主人公は彼女の家に監禁され毎日肉体関係を
強要されるようになる
普通なら逃げ出すところだが
初めて感じる安堵や、抱き合うたびに感じる多幸感から
抜け出せなくなり
やがて共依存の関係に堕ちていくこととなった…。

はまざき　じゅん
濱崎純

自己主張や目立つ事が苦手
暗い性格だが花蓮と
過ごしてからは少しずつ
明るくなってきた模様

やまき　かれん
八巻花蓮

大企業の社長令嬢
178センチ　およそJカップ
純の事しか好きじゃない
独占欲が強く、愛が重い

……♪
ゴソゴソ
あっ
濱崎さーん
スタスタ…
今帰りですかぁ？
……え、
あ、はい…
アユナも
帰るとこ
だったんですっ
ご一緒
しましょ♡
ニヘラ
え…
ごくり…

もしかして照れてます？
濱崎さんってかわいいんですねぇ
そうじゃないんですけど…
…悪い人ではないと思う
また濱崎君笹木課長に怒られてる
課長ネチネチしてキモめんどいから怒らせんなよ陰キ
鈍臭いから仕方ないんじゃない
でもこういう人は…過去を思い出して少し辛くなる
やっぱり外は厳しい
でも僕はまた生きていくと決めた
ついてこないで…
彼女のために

あれから
1年が経った
花蓮さんに
救い出された
あの冬から…
おかげで
少しずつ
社会に戻る事も
出来た
はぁ…っ
浅野さん
電車、こっち
じゃないですよね…
え？
あっ
まちがえたあ
ちゃは!!
えへへ
せっかくだし
濱崎さんの
最寄りとかで
飲みませんか～？
僕
お酒飲めないん
です…
え～
じゃぁ
ご飯だけっ
あっ
ぐっ
ビッ
イッ

待ってよぉ
アユナに遠慮とかしなくていーんですよ？
ギュ
ちょっと…
やっ
サワ…
やめて
やっぱ濱崎さんって「ウブ」なんですね？
女の子と接した事なかったりしてえ
ゼェ…
もっと強く断らなきゃ
ちがう…
ちがいます…
ゼェ…
でも身体が固まって動かない
喉の奥も何かが詰まったような違和感があって
うまく…話せない
やっぱり僕は――
純さん
何してるんですか？

遅いから
迎えに来ちゃった
…すみません
お疲れ様です…
何食べたい～？
何だよ
いるんじゃん…

あ♡ かれんさっ♡♡
でてるっ♡
もおっ でてますっ♡

あの…
少し休憩させてほしい…
はぁっ
はぁっ
はぁっ
ダメ…♡
今日はもっともっとするの…♡♡
はぁ
出来ますよね？
ぐっ…
ぐちゅぐちゅ
満足するまで寝ちゃダメよ
ぐりぐり
ぐりぐり
ぐりぐり
ぐりぐり
あぁ
あぁ

はっ♡
はっ♡
激し…♡
やばっ
グチュ
グチュ
グチュ
こんな
攻め立てられたら
すぐ
出ちゃう…!!♡
ニュル
すごく
気持ち良さそう♡
こういうの
好きでしょ
ズキン
ズキン
すきっ
すきです…♡
本当に？
本当に
私のこと
好き…？

好きですっ
他の女性に触られても？
あれはただの職場の人でっ
っ、ついて来ちゃったんです…
そうなんだ
純さんって「そういう人」惹きつけちゃうのかもね…♡
ちょっと嫌…
ごめんなさっ

ぞくっ
ぞくぞく
ビクッ
ビクンッ
あっ
ああ…♥
あう…ちがう…
んです
はぁ…
はっ
はぁ…
ほんとに
なにも
なくて
信じて…
本当…に
花蓮さんは
黙ってずっと
抱きしめてくれた
はー…
はー…

だからこそ
余計に寂しく感じた
人生で
はじめて人を愛した
でも愛するだけでは
ままならない事も
あって
今までではただ
弱さを受け入れ
包まれるだけで
甘えていたのかも
しれない
気まずい
カタ
カタ
カタ
これからは
それだけじゃ…
濱崎さん
リトライ
濱崎さんって
童貞じゃないんだ？
こんな野暮った…
いや、もさ…
大人しそうなのに
詐欺ですね
は…
押せばイケると
思ったんだけどな
あ、大丈夫です
もうあんな事しないんで
非童貞はお呼び
じゃないでーす
アユナはドーテーくんがすきーっ
あっ
水野クーン
お願いが
あるん
だけどお♡
ひゃっほーい
……

……
私嘘ついて
ました

え？

昨日
「ちょっと嫌」
って
言ったと
思うんだけど…

すっごく嫌
私
嫉妬してるの
私って
他人から見たら
色んなものを
持っているように
見えるでしょ
お父さんは社長で
お金にも、人にも
困った事ないの
唯一困ったのは
純さんが
手に入らなかった事
はじめて好きになった人が
死んじゃいそうなくらい
悲しんでた事
だから私
純さんの障害は
全て取り除いて
あげたかった…
純さんの心を犯した
悪魔を殺してやったの
私やったわ！

ひとつずつ
純さんの事
集めて
焦がれて
やっと
1年前のあの日
声をかける事が
出来たのよ
純さんは
私がやっと
捕まえたのに
何もしてない他人に
触られたのが
嫌だったの…！
ビリッ
びっくりしたの
こんなくだらない事で
こんなに嫉妬するなんて
でも許して…
好きで好きで
たまらないの…
私って
きっと重いわ…
でも純さんは
私のものよ
奪うような人は
きっと殺しちゃう

男の人って
重いとめんどくさく
なって逃げるらしいの
カチャ…
カチッ
カチャ
でも私
恋愛ってした事ないから
そんなの知らないわ
…もしかしたら
気持ちを話したら
純さんに嫌われるかも
って怖かった…
ドキ
ドキ
そんなわけない
僕は
逃げられない
でも
関係ないわ♡
絶対逃さないもの♡♡
私の気持ち
重くても受け止めて
くれるわよね♡
花蓮さんは
こういう人だから
ぐぐぐぐぐ

だから僕は
彼女のことを
好きになった
〜……
ギン
興奮してる…♡
くす♡
純さんって
モブに童貞って
勘違いされて
迫られるくらい
大人しいのに
ドキ
僕を見つめる瞳は
優しくて
本当は
首輪つけられて
裸にされると
暴力的な行為なんて
一切してこないのに
パンッパンに
勃起するくらい変態
なのにね…♡
ドキ
その行動や
思考の全てが
僕には処理出来ないほど
大きくて、重くて
ヒクン

私がいっぱい愛しちゃったから
私以外で満足出来ない身体でしょ…？
あ
あ…
抵抗する間もなく
はー…♡
はー…♡
そ…
そう…です…
全部…飲み込まれる

デブっあ♡
かれんっさ…♡
ソレだめっ
はっ♡
はー…♡
ぢゅぽぢゅるれるんっ♡
ひっ
へっ♡
でちゃうっ♡♡
イっちゃ…♡♡ぶ
っっ♡♡
ふにゅっ♡

あ～…
ぬるぬる…
ん…ン
ちゅぽ
ぷるん♡
ぐちゅぐちゅ
今日はしつこく愛するから
私がどのくらいあなたを愛してるか改めて感じてね…♡♡
はぁ
はぁ…

純さんって…
ここも弱いんですよね
私がいっぱい愛したから♡
たくさん声出しちゃって可愛い♡♡
イッたばっかで敏感なのに…♡♡
ちゅ
あぁ
はっ
はっ
ふ
にゃっ
ふにふに

ふーー♡
あ♡し
きもちぃっ♡
れすっっ
ふーー♡
ぞく♡ぞくっ
ぞく♡ぞく♡
ねろ♡ねろ♡
にゅる♡
にゅる♡
ビクッ
ビクッ
むぎゅ♡
こうされるのが
好きなのよね…♡
きゅん
きゅん
きゅん
私に色んなこと
されて
とろーー♡
あ♡

私から与えられる快楽だけで…♡
頭がいっぱいになっちゃうの…♡
でもそれだけじゃなくて
言って欲しいの
純さんがどうしたいかも

私が純さんを好きに愛するように
純さんにも好きに愛されたいわ
それも私から与えられる支配でしょ
はぁ…♡
ふぅ…♡
支配…
あの日誘拐されてから今日までの掌握は全て愛情だったの
そんな事はもう分かっている
花恵さんがいなきゃ生きていけない
支配される事は愛情と代わりないの
愛には答えなんてないのだから
ぎゅっ
あなたが感じる愛情が支配で
私も同じなのよ♡
支配される事はまた支配される事よ

ちゅ♡
ふっ♡
ん♡
はふ♡
むちゅ♡
ちゅ♡
ん♡
あっ♡
はっ♡
あ、
はっ♡
ハッキリ
来て…♡
ハッ…っ
おあ♡
ハッキリ
ワレメ♡
クチュ♡
クチュ♡

あ
もっと…♡
あ
はっ
はっ
もっともっと好きに…っ
あっ♡

はっ
ここ♡
はっ
よく
見て…♡
はぁ♡
こんなに
濡れてる…♡
花蓮さん
いつもより
興奮してる…
あっ♡

いつも僕ばっかり
気持ちよくしてもらってるから…
もっと感じて欲しい…

あっ
ビクッ
ビクッ
はっ
はっ
もう
大丈夫…っ
ダメ…
もぉ挿れたい…♡
見て♡
唾液と混ざって
ドロドロに
なって…♡
純さんのおちんちん
気持ち良くするための
おまんこになっちゃった
もう我慢
出来ない…
全部
食べちゃいたい
全部…
♡

ズプッ
ズプッ
ズプッ
あ……
おおき……い
ぐぁ……
あ……♡
中……♡
あっ……
ガッ
ガッ
ガッ
気持ち良すぎる……っ
ギッ
ギッ
ギッ
くす……

こうやって
気持ち良くなると
ぎゅって手握っちゃう
とことか…♡
かわいい♡
ぐぐ
ちゅ♡
あっ
私しか
知らないこと♡
はっ
はっ
はぁ…
他の人には
絶対教えない…
純さんはっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
私のよ♡
ぐぐぐ
僕が思っているより
花蓮さんは嫉妬深い
今日で
よくわかった
あ…っ
あ
でも

僕だって
花蓮さんが
他の人に…
なんて
想像もしたくない
ちゅう♡
きっと
彼女は自分が
言うように
「重い」んだと思う
つい
はっ。
どうしたの…？
花蓮さんが
もっと
好きにしてって
言ったから
でも僕だって
きっと相当重い
ズチュ
ズチュ
あっ♡
そうだったわね…♡
だから、お互いに
重すぎて
逃げる余地もなくて
うんっ
して…♡♡
そこに沈んで
二度と浮上できない
くらいじゃなきゃ

あ
ビクッ
ん…っ
ズチュ
ガリュッ
ズチュ
あんっ
ズチュ
ズチュ
あ…
ここ気持ちいいですか…？
はぁ
はぁ
ぐぐ
ぐぐ
気持ちいいっ♡けどっ
変な声出ちゃう…
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

恥ずかし…
なっ…なんで…ぇ…
好きにしていいって言った…
調子狂っちゃうわやっぱり純さん下になってよぉ…
そうだけどぉ
嫌です

僕が感じる支配が愛情で…
花蓮さんも同じなんでしょ
あ
ぐぐぐ
ぐぐぐ
はっ
つっ
はっ
あっ
はー
あっ
だから僕も…
僕が犯して花蓮さんが僕の事しか考えられないようにしたい
にゃる
にゃる
んっ
あっ
そしたらもう不安になったりしないよね？
はー
はー…
花蓮さんしかいないってわかってもらえますか？
ん…
つい…
なんかあまり見た事ない顔して…
照れてる？

か、かわいい…
もっと見たい
あ♡
純さんっ
激しいっ♡
はあっっ♡
好きにして
いいけどぉ
私持たない
…
変になっちゃう
よぉ…
おっっ♡
おぐだめっっ♡
イクッイグッイグゥ♡
んおおぉ♡
お

乳首とクリダメぇ…♡♡
お
もぉイッてるのに…♡
スリスリ
スリスリ
しつこくて好きぃ…♡
しつこいの癖にな…るぅ♡
あぁっ…♡締まる…ぅ
出るっ♡
花蓮さん…ッ♡射精る…ぅッ♡

お♥
おぉっ♥
んっ♥
あっ
もっと♡
純さんの
精子で
いっぱいに
してぇ…♡
おっ
奥っ♥
おくまで
おぉっ

純さ…ぁん♡
私のおまんこ気持ちいい…？
純さんのおちんちんで気持ち良くなってるおまんこ…♡
何度も何度も
気持ちいいっ
はぁ
あ
好き…い♡
好き…♡
です…うッ
ぺろれし…♡
口に出して確かめて
あっ
好き…？♡

必死に弱さに蓋をしているようで
うれしい♡
好き…
花蓮さんっ
はっ
はっ
全部出して…
花蓮さ…んっ♡
あっ
もっとキスして…♡
愛おしい
あへっ
ふぁ…♡
いっひゃ…う♡
だひへぇ…♡

んっ♥
んっっ♥
むぐ…♥
んっ あ…♥
ひくっ
ひくっ ひくっ

ぷっ
しゅ〜
はぁ〜
もっと
離れられなく
なっちゃいましたね…♡
おおぉぉ♡
私たち
…うん。
あ…
そうだ…
渡したいものが
あるんですけど

ズキン ズキン
ズキン
これ…

メリー
クリスマス…
あと
花蓮さんの
お誕生日…

こういうこと
これからも
していきたくて
だから僕
また外に出ようと思った
んですよ

刺すような冬の匂いは
憂鬱で、消費する日々の
象徴だった

今では穏やかな
日常を告げるひとつの
合図に変わって

こんな日々を
「日常」だと
思える事が
幸せなのだろうと
思えるようになった

それは
ずっとずっと
今でもこれからも
僕の全てが彼女に
囚われ続けて
必ず
帰る場所だから

あとがき

海野です。前作から読んでくれてる人はまた手に取ってくれて
ありがとう！今回からの人は前作も読んでみてね。

今回はストーカーのヤバさとか執着よりも
嫉妬や共依存の強さをテーマにしました。
（それでも花蓮さんはヤバい）

純も花蓮さんもお互いが最初で最後の相手なので
恋愛についてはわからないことが多いのでしょうね
花蓮さんはつまらない事で嫉妬したり
純はこんなことも、あんな事もわかっていない。
それは2人がそれぞれに孤独な人生を送っていて
自分以外を心に入れなかったからだと思います。
だから花蓮さんは人を愛することが執着や支配だし
愛がわからない純はそれを受け入れているのだと思います。
でも愛情って一生目視できないもので、ないかもしれないし
あるかもしれない。
だから明確な答えなんてない方がいいんです。

「膣内監禁2 爆乳爆尻元ストーカーに嫉妬されて犯される」
サークル たのしいすいぞくかん
作者　　海野りょう
配信日　2026年 2月8日
発売日　2025年 12月31日
　　（コミックマーケット107）
印刷所　ケーナイン
連絡先　umino_pororin@yahoo.co.jp
お仕事等のご連絡はこちらのメールアドレスにて
よろしくお願い致します。

表紙ロゴ全体デザイン
イシダ様(X @dacquer)

pixiv ID 70699956
X @uminoryooo

本作品の転載、複製、改変、転売、無断の翻訳等はいかなる場合でも禁止します。

本作品の著作権はサークルたのしいすいぞくかんにあります。

本作品を許可なく翻訳し、インターネットにアップロードした場合、
作者がそれを保存し、正規品として販売致します。
アップロードされた時点でこれに同意したとみなします。

All rights reserved.
Translation, alteration or uploading
on the other websites of the contents of this work
without prior authorization of the Copyright
Owners is prohibited, therefore we will
save it and sell as an official product in the case you do.
without permission will be understood as your agreement to these conditions.
Thank you.

18歳未満の購入、閲覧は固く禁じております。
本作品はフィクションであり、実在の人物、
地名、施設、団体とは一切関係ありません。

プレイ内容等を擬似しトラブルが生じた場合
当サークル、作者は一切の責任を負わないものとします。